**事業類型 ：社会**

**注記（事業別財務諸表：道路事業）**

**１．偶発債務**

（１）債務保証または損失補償に係る債務負担行為のうち、履行すべき額が未確定なもの

主なもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事項 | 期間 | 限度額 |
| 平成２７年度大阪府道路公社事業資金借入金に対する  債務保証  【一般会計・都市整備部・道路事業】 | 平成２７年度  ～  平成３７年度 | １２０億円の借入金の元金及び  利子並びに清算金 |

**２．追加情報**

（１）固定資産の減損の状況

（行政財産）

減損を認識したもの

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 用途 | 種類 | 場所 | 減損前の帳簿価額（円） | 減損に至った経緯 | 減損損失額（円） | 減損後の帳簿価額（円） | 減損損失額の算出方法の概要 | |
| 帳簿価額と比較する正味売却価額・使用価値相当額の別とその算出方法 | 摘要 |
| 牧野穂谷線 | 土地 | 枚方市招堤南町1丁目 | 85,456,450 | 都市計画廃止が告示されたため | ０ | 85,456,450 | 正味売却価額（路線価を採用） | 正味売却価額が帳簿価額を上回っているため減損損失額は０ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 和泉大宮停車場線 | 土地 | 岸和田市上野町東６２番地２先から同48番地先まで | 200,949,150 | 岸和田市へ移管 | 0 | 200,949,150 | 正味売却価額（路線価を採用） | 正味売却価額が帳簿価額を上回っているため減損損失額は０ |
| 和泉大宮停車場線 | 工作物 | 岸和田市上野町東６２番地２先から同48番地先まで | 274,676,150 | 岸和田市へ移管 | 0 | 274,676,150 | 正味売却価額（公有財産台帳上で把握している現在価額を採用） | 正味売却価額が帳簿価額を上回っているため減損損失額は０ |
| 春木岸和田線 | 土地 | 岸和田市稲葉町269番１から尾生町802番4まで | 2,990,469,916 | 岸和田市へ移管 | 0 | 2,990,469,916 | 正味売却価額（路線価を採用） | 正味売却価額が帳簿価額を上回っているため減損損失額は０ |
| 春木岸和田線 | 工作物 | 岸和田市稲葉町269番１から尾生町802番4まで | 4,235,268,276 | 岸和田市へ移管 | 0 | 4,235,268,276 | 正味売却価額（公有財産台帳上で把握している現在価額を採用） | 正味売却価額が帳簿価額を上回っているため減損損失額は０ |

（２）利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

主なもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事項 | 期間 | 支出予定額 |
| 大阪府道路公社事業資金借入金に対する利子補給  【一般会計・都市整備部・道路事業】 | 平成2７年度  ～  平成42年度 | ２８億２４百万円 |

（３）その他財務諸表の内容を理解するために必要と認められる事項

①事業の概要

大阪の活力と豊かな生活を支える道路ネットワーク形成のため、府道等の整備や鉄道との立体交差化、高速道路整備のための出資等を行っています。また、老朽化が進む橋りょう等の予防保全対策など適切な維持管理に取り組んでいます。

　　　②当該事業に関し説明すべき固有の事項

○大阪府道路公社に対する出資金及び債務保証について

同公社が平成25年3月時点で公表した、有料道路の通行料金徴収期間満了時の未償還額は、907億円と見込まれておりますが、同公社に対する出資金の減額及び債務保証損失引当金の計上は行っておりません。

○未収金について

未収金（661百万円）には、建設コンサルタント会社を被告として提起している民事訴訟の損害賠償請求金額（572百万円）が含まれております。

なお、平成25年度末における未収金には、当該建設コンサルタント会社に対する未確定債権（遅延損害金）（174百万円）が含まれておりましたので、当該金額を平成26年度に減額しております。

○資産の部における法人等出資金の内訳のうち、地方自治法第238条第1項第6号に規定する有価証券は、阪神高速道路㈱株式（2,877百万円）、本州四国連絡高

速道路㈱株式（109百万円）です。